

# 千年の森便り No.243

2024.3.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

### 3月17日（日）天候 晴れ、強風

2023年度の最後の活動日は、春の陽気と強風の一日でした。活動内容としては、定期的に行っているニホンジカの生息状況調査と、懸案だった物置の改修作業を行いました。参加者が少なく、なかなかハードな一日となりましたが、若手2名のパワーと体験参加の強力な助っ人1名のおかげで順調に作業を進めることができました。

参加者は、伊藤、大原、坂本、清水、竹下、成沢、福島島の会員7名と体験参加の澤島さんの計8名でした。

次回の定例活動日は4月21日（日）です。2024年度最初の活動日になりますので定時総会を開催します。会員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。なお、参加できない方は委任状（後日メールリストでご連絡します）の提出をお願いします。（福島）



### 〇ニホンジカ生息状況調査

豊英島のニホンジカの生息状況を把握するため、3か月に1回、年4回の調査を行っています。今回は、2023年度の4回目の調査になります。

調査方法は、吊り橋を渡った島の入り口から、7コースに分かれて島内を一斉に踏査し、シカの目撃や足音、声、痕跡を記録して生息状況を把握するというものです。今回の調査時間は、10:05～10:40でした。

結果は、ニホンジカの確認はありませんでしたが、4コースの伊藤さんが、10:15頃に広場近くのヒメコマツ植栽エリア（柵内）に逃げ込むキョン1頭を目撃しました。

今年度の調査結果は、6月は目撃なし、9月と12月は各1頭目の目撃、3月はキョン1頭目の目撃となりました。

豊英島では、以前はいなかったキョンやイノシシがセンサーカメラで頻りに撮影されるようになってきており、反対にニホンジカの記録が少なくなっているようです。来年度も調査を続けていきたいと思っております。（福島）



1コースで見つけたヒメフタバラン

### 〇豊英島の春（坂本さん撮影）



シキミ



シュラン



スハマソウ



アセビ

## ○キョンの目撃

二ホンジカ調査でキョンを目撃しました。このところ、島を横断して反対側の湖岸まで降りる第4コースを担当しているのですが、前回(12月4日)の二ホンジカに続き、今回はキョンを目撃しました。ヒメコマツ植栽エリアの外側から、保護ネットの中に潜り込み、反対側から出ていきましたがほんの数秒でした。ネットの中に入ったキョンが行き場がなくなって暴れまわることを危惧しましたが、迷わず出て行った様子なので、普段から利用している穴があると思い探してみました。しかし、穴はなかなか見つかりません。不思議に思っていると福島さんがこれですよと示してくれました。ネットのわずかな隙間で、注意しないと見つからない大きさです。キョンの増加、イノシシ被害などを考えると、保護ネットの位置や構造を考え直す時期にきているようです。(伊藤)



キョン (センサーカメラの画像)

## ○コシダあれこれ

シカの調査では2コースを担当しました。このコースの終点は禁断岬のヒメコマツ植栽地の辺りです。シカとの遭遇はありませんでしたが、終点ではコシダの群落が目につきました。シカの食害で島内では林床の植物が激減している中で、コシダは食害を免れて茂っていますので、林床が豊かだった時代の風景を彷彿とさせます。

シダは一般的に湿気が多い日陰を好む傾向があるのに対して、コシダは乾燥気味のやせ地が好きです。コシダといってもシダの仲間としては標準的な大きさで特別に小さい訳ではありません。同じような環境に生えて、草姿が似ている大型のウラジロに比べれば小さいのでこの名があります。

ウラジロは正月飾に縁起植物として添えられますが、コシダは何の役に立つでしょうか? 国内でマツタケが沢山とれた頃には贈答用に竹を編んだ小籠に詰められたものが大量に発送されていました。その緩衝材としてコシダの葉が詰められていたのを見た事があります。我が家にその贈答品が届く訳はなく、贈答品の配送に関する仕事をした事があるだけです。この原稿を書くにあたり、その当時のような写真が欲しくてPCを検索しても、お目当ての写真は見つからず、代わりに段ボール箱入りのものが見つかりましたが下に敷かれたシダがコシダかどうかとも怪しい感じです。尚、写真を検索すると詰め物にはコシダ以外にウラジロ、ヒノキやモミ、ツガの葉が使われていました。千年の森でバカマツタケが大発生したら、箱詰めにして活動資金の捻出に役立てましょうか。緩衝材のコシダなら十分にあります。が、しかしその前に放射線量の問題など色々クリアしなければなりません。実現は夢のまた夢。(坂本)



コシダの群落



段ボール箱入りのマツタケ

## ○豊英島の春 (坂本さん撮影)



ヤブツバキ



ミヤマシキミ



マメザクラ



島に渡る吊り橋

## ○物置の改修作業

豊英島では、活動に使用する植生保護用のネットなどを一時保管しておくために、窪地にブルーシートの屋根をかぶせて仮設の物置として使用しており、数年に一度そのメンテナンスをしています。今回も大原棟梁の指示のもと改修作業を行いました。作業としては資材の出し入れがしやすいように屋根を上げることと、ブルーシートを張る屋根の下地が傷んできたのでその補修です。

作業を始めてみると、え！こんなに資材が入っていたの？と、これまでの21年の活動の歴史を感じましたが、少し資材の整理が必要なようです。今回は大枠の改修を行いましたので、次回は屋根の下地の改修を行う予定です。(福島)



改修前の物置

## ○ポータブルロープウインチには買い物かごがピッタリ！

枯損木処理の切り札的存在になりつつあるポータブルロープウインチですが、地面に直接置くと少し高さが足りず作業がやりにくい、架台を用意すると荷物が増えるということで何か良い方法がないかと考えていました。運搬時の入れ物をそのまま架台として活用できれば一石二鳥ということで、適当な物を探してみたところ、スーパーの買い物かごがピッタリでした。エコバッグと同様に使えるよう、スーパーで販売している物を使用しますので、調達方法にも問題は無いものと思われます。(本来の用途では無いので、それなりの留意が必要ですが。)

運搬時は本体のほか、予備燃料や滑車類も入れられます。作業時は裏返して架台として使用します。軽くて丈夫でいい感じです。

今回の活動では終日別の作業だったため、使用する機会がありませんでしたが、また次回以降、本格的に試してみたいと思います。ご安全に！(竹下)



## ○マダニに注意

広場の作業台の上に置いてあった箱に、マダニの仲間がついていました。マダニの仲間は吸血寄生性で、吸血時にさまざまな病原体を媒介するため注意が必要です。特に、近年では重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱で死亡例も出ていることから、忌避効果のある虫除けスプレーを活用し、時々、衣服についていないかのチェックを行いましょう。写真はマダニ科チマダニ属の1種のようなようです。(福島)



マダニの仲間

## ○ちば千年の森をつくる会の活動に体験参加して(澤畠愛純)

職場の回覧で代表の福島さんのお話を読み「ちば千年の森をつくる会」を知り、島の森林整備に興味を持ち体験参加をお願いしました。道具や装備も十分そろっておらず参加しましたが、みなさんが道具を貸してくださり、また、やさしく話しかけてくださり、楽しく参加することが出来ました。ありがとうございました。

風が強かったですが、豊英島を散策し、花や木々を見て豊かな自然に触れ心地よい時間を過ごすことが出来ました。また、小屋の改修は力仕事や技術が必要であり力になれたか分かりませんが、普段経験できない体験ができたのでとてもいい思い出になりました。ありがとうございました。

## ○センサーカメラの動物たち

今回はCAM1で記録が多くなりました。前回記録が多かったCAM3は、近くに枯れ枝が落下して画角に枝葉が入ってしまったせいか記録はキョンが1日のみでした。撮影された動物はキョンの頻度が高く、設置期間の51日間のうちCAM1では40日、CAM2では22日の記録がありました。CAM1で多いということは、もしかすると吊り橋を利用しているのかもしれませんが。一方で、ニホンジカについては記録がありませんでした。豊英島を利用する動物の種類が変化してきている可能性があります。同時に記録された最大頭数は、キョン3頭、ハクビシン2頭、タヌキ2頭、その他は1頭でした。(福島)

- 設置期間：1月27日～3月17日
- 設置場所：CAM1(つり橋着岸点付近)、CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬先端付近)
- 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1 キョン40日、タヌキ9日、ハクビシン2日、イタチ2日、アライグマ1日、ノウサギ1日

CAM2 キョン22日

CAM3 キョン1日



キョン



タヌキ



アライグマ



ノウサギ

## お知らせ

○次回の定例活動は4月21日(日)です。

2024年度1回目の活動日となりますので定時総会を開催します。総会は会員の3分の1以上の出席が必要ですので出席できない方は委任状の提出をお願いします。詳しくは4月に入ってから改めてご連絡します。

また、物置の補修作業の続きを行いますので、チェーンソー、ハンマー、バール、ペンチなどの道具をお持ちください。ご参加をよろしくお願いいたします。ダニ対策、ヘルメットの着用をお願いします。